

会 議 記 録

会議名称		第1回（仮称）コミュニティふらっと本天沼の運営に関する地域懇談会
日時		令和5年5月18日（木） 午後2時00分 から 午後4時00分
場所		本天沼区民集会所 第2・3集会室
出席者	委員名	本天沼区民集会所利用者：塩谷委員、曾山委員 天沼区民集会所利用者：佐藤委員、平委員 ゆうゆう天沼館利用者：池川委員、本間委員 本天沼東町会：大場委員 荻窪地域区民センター協議会：杉浦委員 天沼青少年育成委員会：豊川委員
	オブザーバー	本天沼区民集会所職員：細川氏
	事務局職員	地域施設担当課長、地域施設係長、荻窪地域活動係長、コミュニティふらっと整備担当係長、コミュニティふらっと整備担当主査、地域施設係職員1名、高齢者施策課施設担当係長、いきがい活動支援係職員1名
傍聴者数		(有) 25名 無
配布資料	事前	なし
	当日	・次第 ・委員名簿 ・説明資料
会議次第		1 開会のあいさつ 2 委員自己紹介・事務局紹介 3 コミュニティふらっとの特徴について 4 既存のコミュニティふらっとの取組事例について 5 今後の進め方・議題・スケジュールについて 6 閉会のあいさつ

- 1 開会のあいさつ  
地域施設担当課長よりあいさつ
  - 2 委員自己紹介・事務局紹介  
委員の自己紹介と事務局職員の紹介
- 傍聴者の発言について  
複数の傍聴者から「傍聴者にも意見を言わせてほしい」との要望があり、委員からも同様の要望があったため、次第に従って進行した上で、最後に時間があれば傍聴者の意見を聞くこととした。
- 3 コミュニティふらっとの特徴について
  - 4 既存のコミュニティふらっとの取組事例について
  - 5 今後の進め方・議題・スケジュールについて  
事務局職員から説明資料に基づき説明
- 各委員からの意見
- ・1年に2回のイベントを実施するだけでは、多世代交流が実現できるとは思えない。田舎のように、高齢者が子どもの面倒を見るような関係をつくるのは、個人情報保護や安全面が問われるため、東京では難しいのではないかと。発想を変えない限り、交流が生まれるとは思えない。  
⇒事務局：顔見知りになることが、多世代交流のきっかけになると思っている。自然発生的に多世代の交流が進むことを期待している。
  - ・子どもも使える場所を目指したいとのことだが、子どもが施設を利用する際は無料で利用できるのか。
  - ・懇談会を進めていくにあたって、「他者の意見を聞く、否定しない」「否定する場合は代替え案を示す」などのグラドルールを設定してはどうか。
  - ・委員を引き受けるにあたって、既存のコミュニティふらっとを見学した。自主運営事業に参加している子育て団体と話す機会があったが、ラウンジは赤ちゃんには使いにくいとのこと。本当に多世代に使ってほしいのであれば、各世代に配慮したラウンジとするべき。
  - ・区は、コミュニティふらっと本天沼の何を特色にしたいと考えているのか。また、受付からラウンジが見えない設計となっているため、心配である。

・ゆうゆう館利用者から見て、コミュニティふらっとは利用者の要求に応えられる施設なのか。また、子どもも呼び込めるような施設にしていけるのか。(佐藤委員)

・コミュニティふらっとは、住民の要求に基づいて作られた施設ではない。多目的室も小さく、区民意向が反映されていない。コミュニティふらっとを根本から考え直す必要がある。

・この懇談会は運用についての話しをする場なのか。今の計画を見ると、子どもが使えるような施設になるとは思えない。ここで出た意見を計画に反映してもらえないのであれば、話し合いをする意味がないように思う。

#### ○オブザーバー意見

・コミュニティふらっと本天沼は施設の奥の方にラウンジができるが、受付の位置から見えないので、心配がある。本天沼区民集会所では、受付の職員が来館者をよく見ている。コミュニティふらっとの受付職員にも、来館者に対する気配りをしっかりとやってほしい。

#### ○設計について

・複数の委員から「施設の設計について、テーマに盛り込むことはできないのか」との質問があり、事務局から「設計は既に完了しているため、テーマにするのは難しい。ソフト面での意見を伺いたい。」と回答した。

#### ○各委員からの意見を受けて

・ラウンジの活用、コミュニティふらっと本天沼の特色についてはご意見をいただいたので、今後の懇談会の議題として入れたい。

#### ○傍聴者からの意見

・高齢化が進む中でゆうゆう館を廃止するというのは理解できない。人のつながりというのは、一緒に生活するからこそ生まれると思っている。場所を作ったからと言って、すぐにできるわけではない。

・子どもと高齢者が挨拶をすれば人と人のつながりができる、という考えは違うと思う。ハード面で、駐輪場はできるのか。交流させることで起こる危険もある。誰でも来られるという施設の性質上、不審者などの危険性もあり、子どもが安心して使える施設になるのかは疑問である。

⇒事務局：駐輪場は本天沼区民集会所から8台増えて、計24台になる。

・近所に住んでおり、ゆうゆう館を使っている。公費の問題があると思うが、どのくらいの面積を増築して、どのくらい費用がかかるのか。

⇒事務局：面積は約70㎡増える。費用については後日回答する。

※5月22日(月)にメールにて回答済。

・設計は決まっているのか。小さい施設に3施設詰め込むのか。保育園とゆうゆう館の併設はできないとのことだが、保育事業者とも話し合ってもらいたい。

・本天沼区民集会所と天沼区民集会所を廃止することで、天沼地域の集会所が半年間なくなってしまう。仮に計画を進める場合にも、旧若杉小学校に会議室をつくるなど、区民が使える場所を残してほしい。

・過去に開催された2回の説明会と同じ説明しかしていない。全く区民の意見が反映されていないと感じる。

⇒事務局：多目的室の防音性を高めるなど、いただいた意見を一部反映させていただいている。

・ウェルファーム杉並の4階に児童発達相談係が移ってくるとのことだが、4階の会議室のうち2つは職員の会議室になると聞く。職員を優先するのではなく、その部屋は区民が使えるようにしてほしい。

・パピーナ荻窪天沼保育園との複合化が契約上難しい、ということであれば、弁護士を通じて話し合いをするべき。

・ゆうゆう天沼館を残してほしい。また、雇用、施設の運営について具体的に考えてほしい。

## 6 閉会のあいさつ

地域施設担当課長よりあいさつ

○次回の開催について

第2回の開催は、令和5年8月を予定している。